

下水道施設の老朽化対策【国土交通省】

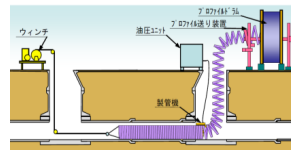
施策概要 老朽化したストックの増大に伴う道路陥没事故発生や機能停止等を未然に防止するため、予防保全への転換に向けて、下水道管路の老朽化対策を実施

効果 下水道管路の管更生を実施する事で、管路施設に起因した道路陥没件数は減少しており、汚水の流加機能の停止を防止し、公衆衛生の確保に貢献

全国的な対策と効果

対策 対策の緊急度が高いと判断された管路施設の老朽化対策を実施している
緊急度 I 判定(速やかな措置が必要)となった下水道管路約400kmについて、対策を完了

【管更生工法】
破損や腐食した既設管の内面に新たに管を構築することにより、耐荷性能、耐久性を確保するもの。



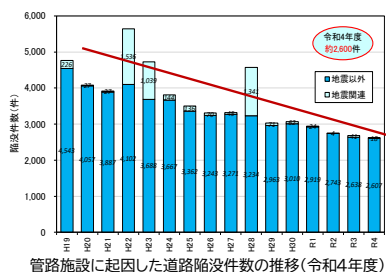
下水道管路の管更生により、老朽化した下水道管路の破損等が生じ道路陥没事故が発生することを防止するとともに、汚水の流下機能の停止を防ぎ、公衆衛生を確保。

緊急度 I 判定となった管路施設の対策状況(令和6年度)

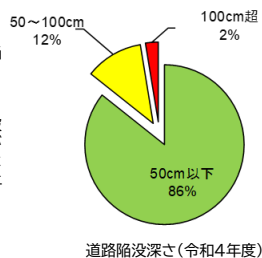
| | | |
|--------|--|------------|
| | 計画的な点検調査を行った下水道管路で、緊急度 I 判定となった管路：約434km | |
| 対策済み延長 | (R1) 0km | (R6) 359km |
| | 359km増加 | |

緊急度は、施設の機能や状態の健全さを示す指標であり、対策が必要と判断された施設において、対策を実施すべき時期を定めたもの。その中で、緊急度 I は、速やかな対策が必要な状態を指す。

5か年加速化対策の効果



管路施設に起因する道路陥没の件数は減少傾向にある
下水道管路の管更生により、老朽化した下水道管路の破損等が生じ道路陥没事故が発生することを防止するとともに、汚水の流下機能の停止を防ぎ、公衆衛生を確保。

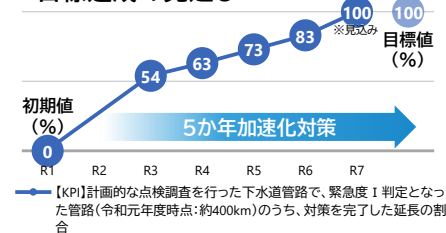


予算額(国費)(加速化・深化分)

| | | |
|------|------|-------|
| R3 | R4 | R5 |
| 68億円 | 52億円 | 53億円 |
| R6 | R7 | 累計 |
| 57億円 | 51億円 | 281億円 |

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



【KPI】計画的な点検調査を行った下水道管路で、緊急度 I 判定となった管路(令和元年度時点:約400km)のうち、対策を完了した延長の割合

整備事例

下水道管路の老朽化対策により、道路陥没事故等を未然に防止する



岐阜県多治見市

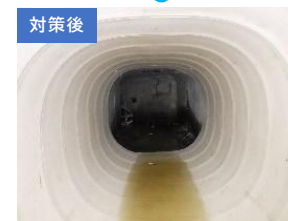
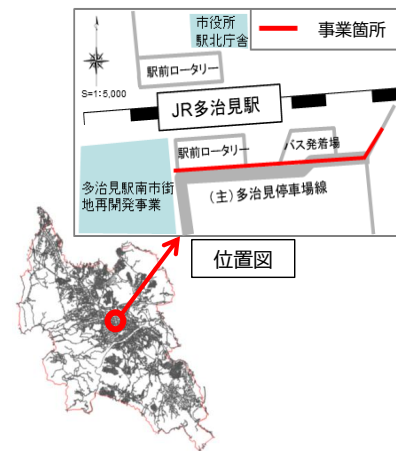


岐阜県多治見市



多治見市における下水道管路の老朽化対策

管更生工事の状況



事業費

1億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1億円)

事業の背景(地域の課題)

JR多治見駅付近は、通勤・通学者や駅利用による路線バス・タクシーが多く通過する交通量の多い中心市街地です。周辺の下水道施設は、老朽化が著しく進行し、下水道に起因した道路陥没事故等のリスクがあるため、早期の対策が必要となっていました。

事業の内容

老朽化した下水道管路について、管更生工事※(L=0.3km)を実施し、老朽化対策を施しました。
※管更生:破損や腐食した既設の管渠の内面を更生する工法

見込まれる効果

地震や大雨等の災害により、老朽化した下水道管路の破損等が生じ道路陥没事故が発生することを防止し、汚水の流下機能の停止を防ぎ、公衆衛生を保全するとともに、道路利用者の安全を確保し、交通機能を維持します。

下水道に起因した道路陥没



道路陥没による通行止め



(1) 人命・財産の被害最小化
1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・ライフラインの維持
2 インフラの老朽化対策

(1) 施策のデジタル化
3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化